

事業実績書

事業名	『母たちのスキルアップ支援』とスキルの活用
場所	主に沼津市内
期間	2020 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日
日程	実施項目・作業項目
事業内容	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) 【障害者のしごとを考えるミーティング】 ミーティングを 12 回実施(資料①参照) (日時)毎月第2水曜日 9:30-12:00 (場所)サンウェルぬまづ OA ルーム ※コロナ感染症対策の一環としてオンラインでのミーティングも行いました。 事業推進にあたり、事業計画・活動報告・意見交換会、スキルアップ研修や勉強会等の計画、必要事項について決定、情報交換や憩いの場となりました。   【スキルアップ研修】 感染症拡大防止の対策を取りながら時期を見計らい、取り組める事業を選抜して実施しました。 (1)障害者雇用を促進する分野(ジョブコーチなど) 3/24 のお仕事体験の際、現役のジョブコーチに子ども達にしごとの手順や心構えを指導していただきました。その際、子ども達への指導のポイントについて学びました。 (2)キットパスアートインストラクター 新たなインストラクター資格取得はありません。 『ウィンドウアートプロジェクト』 11 月にウィンドウアート講師の講習を受けて、スキルアップしました。 また、プラサヴェルデで実施した「ぐるぐる NUMAZOO」とのコラボイベントや、メンバーそれぞれの居住地区でのウィンドウアートの取り組みなど、他団体や地域と連携して活動の幅を広げました。



(3)パソコン・情報処理など

会計・事業報告等の書類作成を学び、作成できるようになりました。



(4)コーチング・心理学など

実績はありません。

(5)その他各種勉強会・研修・ワークショップなどに参加

12/27(日) 保護者のための特別支援教育公演(zoom)

2/21(日) 高齢化に伴う知的障害者の理解と対応研修(zoom)

(6)各地の障害者施設・事業所・工場などの見学や勉強会

少人数で日本理化学工業株式会社の工場見学に行きました。



【障害を抱える子ども達の作品を基にチラシ・啓発類を制作】

(1) グラフィックデザイナーによる講座

① デザイン講座2回(講師: 渡邊純さん)

- ・第1回撮影講座『作品をキレイに撮ろう』
8/26(水) 13:30-15:00 静岡県立沼津特別支援学校
- ・第2回映像講座『作品を動画にしよう』
10/22(金) 13:00-15:00 zoom



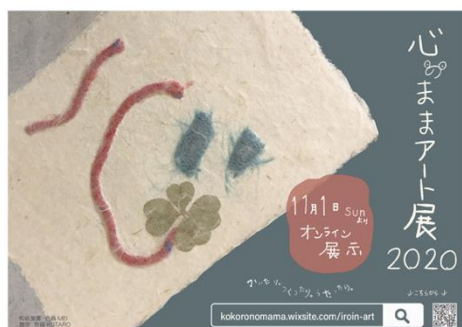
② デザイン講座4回(講師: 矢田美紀さん)

- ・第1回デザイン講座『チラシ作り①』
8/8(月) 10:00-13:00 Numazu Design Center
- ・第2回デザイン講座『チラシ作り②』
8/27(月) 10:30-13:30 Numazu Design Center
- ・第3回デザイン講座『チラシ作り③』
9/30(金) 10:00-13:00 Numazu Design Center
- ・第4回デザイン講座『チラシ入稿』
10/5(月) 19:00-22:00 Numazu Design Center



(2) 子ども達の作品を基にした、ポスター・チラシ等の制作

① 『オンライン心のままアート展 2020』チラシ制作



②その他自主イベント
『音楽でつながるコンサート』
チラシ制作



③他団体が主催するイベント
『静鉄ストアアートミュージアム』データ作成



【子ども達の創作活動・創作意欲に繋がる場を創る】

①絵画造形教室(アトリエかもめ)

【毛糸の張り子】 7/22(水) 6名参加

風船にボンドで毛糸を巻きつけ張り子を制作



【宝島と花火】 8/12(水) 5名参加
 張り子で合同作品を制作
 黒地キャンバスをアクリル絵の具で彩る



【お魚を描こう】 11/25(水) 5名参加



②マーブリング教室 (souvenir box)
 【模様を作ろう】 10/11(日) 12名参加



【プレジョブ(お仕事体験)】

(1) 商品や飲食物の販売・接客

『みんなの得意なことをお仕事に!!』を合言葉に
カフェのお仕事体験をキッチンカーで実施し、珈琲・ホットドッグを提供しました。(10名参加)

(役割分担)

- ①調理係
- ②接客係
- ③レジ係
- ④POP作り

(朝礼)

- ①点呼
- ②リーダー挨拶・目標
- ③身だしなみチェック

(終礼)

- ①感想
- ②記念撮影
- ③記念品贈呈



(2) ものづくり

企業等と連携し、アート作品を活用した販促グッズや商品を制作しました。

①販促マグネット（アフラック代理店）



②T シャツ（オリジナル工房ランタナ）



③パーカー（QUARS）



(3) 農作業・料理・手芸・IT・清掃等（作業を細分化し特化する）
個々での活動を行いました。
（集まっての取り組みは行えませんでした）

①おむつケーキ制作



②オムツドール制作



【地域に密着した親子参加型の取り組み】

(1) 防災について考える

ミーティングの中で、他団体との情報交換を行いました。
（専門家を招いた勉強会は行えませんでした）

(2) 地域の清掃活動などに参加

各家庭で参加しました。
（団体としての実績はありませんでした）

(3) キットパワークション開催と普及

ウインドウアートのイベントを通じて、kitpas の普及を行ないました。
（キットパスアートインストラクターのウインドウアート参照）

【心のままアート展 2020】開催

地域の方々に作品を通じて子ども達のことを知っていただくことを目的に、特別支援学校・支援学級の児童・生徒と OB の作品を、リアルとオンラインの2つの方法で展示しました。

リアル展示

①心のままアート展 -ぼくの色-

(日時)8/24(月)～9/30(水)

(場所)ららぽーと沼津1F 沼津コート(全 38 日間)

(内容)会員の子どもの作品、約 100 点を展示



②心のままアート展 -ぼくの色-

(日時)11/22(日)～3/31(水)

(場所)プラサヴェルデ1F(約4ヶ月間)

(内容)会員の子どもの作品、約 80 点を展示



オンライン展示

①オンライン『心のままアート展2020』

(日時)11/1(日)～3/31(水)

(場所)ホームページ上 (<https://kokoronomama.wixsite.com/iroin-art/2020>)

(内容)特別支援学校・支援学級の児童・生徒、OB の作品 約 150 点を展示

心のままアート展 2020



Q 動画を検索...

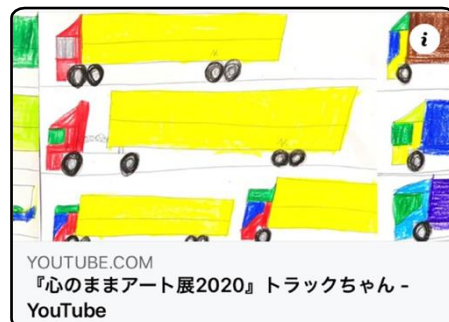


②YouTube『心のままアート展2020』

(日時)11/1(日)～3/31(水)

(場所) YouTube (<https://www.youtube.com/watch?v=h5A4WzNenFM>)

(内容)オリジナル音楽をつけた動画4点



事業効果	※ 事業の効果を記載してください。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業計画書において設定した、成果指標と数値目標による評価を記載してください。 2020 年度の成果 1. 『心のままアート展』の来場者・協賛者数 【来場者】 2017 年 約 700 名 2018 年 約 1000 名 2019 年 約 1100 名 2020 年 約 500 名（オンライン） 5700 名（ららぽーと） 【協賛者】 2017 年 協賛企業 15 社・個人協賛 12 名 2018 年 協賛企業 50 社・個人協賛 32 名 2019 年 協賛企業 82 社・個人協賛 53 名 2020 年 協賛企業 50 社・個人協賛 10 名 2. 『心のままアート展』アンケート結果（資料②参照） 3. 作品展示や商品化の依頼 企業展示 4 件・商品制作 10 件
今後の活動予定	2020年度の活動では、アート展をきっかけにして、商品パッケージ、企業の販促グッズなど、子ども達の作品を使った商品・仕事が生まれました。将来の子ども達の『しごと』や『やりがい』に繋げていけるよう、引き続き「ウィンドウアートの仕事化」や「子ども達の作品の商品化」など自ら資金を生み出せる取り組みを進めていきます。 また、当団体を母体として、ものづくり・デザイン・福祉・医療・教育・子育てなど様々な分野のメンバーで構成する任意団体「こころのまま」にて、静岡県文化プログラム（アーツカウンスルしずおか）に「心のままアートプロジェクト」の登録申請をしています。このプロジェクトとも連携しつつ、誰もが社会参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。
自己評価	障害をもつ人も地域の中で当たり前のように生きる社会を目指し、支援者も当事者と共に喜びを感じられる事業を進めています。スキルアップ研修では、作品のデータ化など特にデザイン分野のスキルアップが図られました。チラシ等の作成も会のメンバーで行えるようになり、楽しみや自信につながりました。 障害について関心を持っていただくイベントや子ども達の作品展示を通じて、障害を抱えていても素晴らしい能力を発揮できる可能性があることや、真面目に作業をするなど十分に働き手としての力があることを知ってもらう取り組みを進めたことで、障害理解や社会参画、コミュニティの構築は少しずつ前に進んでいるように思います。 事業の集大成である『心のままアート展』は、コロナ対応としてリアルとオンラインを組み合わせた展示を行いました。リアルの展示では、縁あって大型商業施設（ららぽーと）での展示が行え、多くの方々に作品に触れてもらうことができました。子ども達の自由な発想、豊かな色彩、ユニークな作品による新たな繋がりが生まれました。多くの方々の心を惹きつけることができたのではと考えています。また、オンラインの展示では、様々な事情により会場に足を運びづらい方々の参加手段としての可能性を感じました。 成果指標として設定した来場者・協賛者数については、共に予定していた数値をクリアできましたが、まだまだ参加者の大半は身内や福祉関係者で、一般の方の参加が少ない状況が続いています。引き続き、より多くの方々に取り組みを知っていただくため、オンラインを有効活用しつつ、さらなる周知を行い、作品の展示先も増やしていきたいと考えています。